

# 国や県の対応と対策 共に力を合わせて この危機を乗り越える



鹿児島県知事と現地視察する霧島市長[2011.1.31/牧園町新湯付近]

新燃岳噴火に対して、国や県も迅速に対応されました。噴火以降、国土交通大臣や内閣府特命防災担当大臣、鹿児島県知事などが訪れ、被災したホテルや旅館などの現地調査や意見交換を行いました。また、国土交通省では噴石防護機能付き車両(防護付調査車)での新燃岳付近の調査、防衛省では大規模な災害があった場合に市民を輸送することのできる装甲車を配備するなど、対応に当たりました。

噴火に対する支援として、内閣府防災大臣参事官を長とする政府支援チームが派遣され、国や県、関係市町などに対応を協議して避難計画を策定しました。また、国土交通省から派遣された現地連絡員を国分庁舎に2人派遣。霧島総合支所には気象庁の新燃岳総合観測班が二酸化硫黄の観測などを行う現地事務所を、また、東京大学地震研究所の臨時観測所も設置され、自治体と情報を相互に共有しました。



除石工事を行った霧島川6号堰堤(霧島神宮付近)



霧島総合支所内に設置された気象庁現地事務所  
所で火山学習をする大田小学校の児童

県では、土石流被害の軽減を図るため、2011年2月から6月にかけて、既設砂防堰堤えんていの除石工事、緊急土石流対策を実施。また、土石流が発生した時に、いち早く探知するためのセンサーやカメラを設置しました。

登山規制が続く中、鹿児島地方気象台と宮崎地方気象台では霧島山の火山活動や天気急変などに注意を呼び掛けるチラシを配布。環境省九州地方環境事務所は、利用することのできる里山や探勝路などの霧島の見どころ紹介する「安全利用ガイド&マップ」を、市では登山解禁後「霧島トレッキングマップ」を作成。その結果、霧島山の新たなトレッキングや散策ルートの魅力が深まり、霧島山の価値を再発見することにつながりました。



噴火後、気象庁や環境省、市がチラシやマップを作成し、霧島山の新たな魅力を発信

## 観光や地域の取り組み 今できることをみんなで考える

全国ニュースで新燃岳噴火の様子が流れ、宿泊施設の予約キャンセルが相次ぎました。そんな中、市や県、観光業界が力を合わせ、このピンチをチャンスに変え霧島山の魅力を生かそうと、さまざまなイベントなどを実施。30年以上の歴史を誇る霧島国際音楽祭もにぎやかに開催されました。

また、新燃岳付近の地域では「自分たちの命は自分たちで守ろう」と自主防災組織を結成するなどの動きもあり、それぞれが自分たちに今できることを考え実行しました。

### INTERVIEW



雲仙市観光協会を招き、過去の経験からアドバイスをもらう  
[2011.2.28/霧島ロイヤルホテル]

#### ピンチをチャンスに変える

新燃岳の噴火で観光施設に大きな影響がでました。宿泊者数が前年比7割以上も落ち込み、経営の危機に直面しました。そこで、商工会や観光協会が一体となり、おもてなしの研修会やイベントを実施。さらに同じ経験をした雲仙市観光協会を招き、復興へ向けてのアドバイスをもらいました。各施設では飛散防止フィルムを窓ガラスに貼り安全対策も行いました。ピンチをチャンスに変えようとガイドクラブを立ち上げ、登山客に今しか見ることのできない新燃岳火口を韓国岳の山頂から見てもらい、新たな魅力を発信しています。これらの取り組みが評価され、国内旅行雑誌じゃらんを発行するリクルートが発表した、人気温泉ランキング2012「全国満足度総合ランキング」で全国一位を獲得することができました。日本中で噴火の一番新しい痕跡を見ることができる霧島山。火山の恵みを学び、今ある魅力を発信しようと思います。



社団法人霧島市観光協会会長  
徳重克彦さん(47)



炊き出し訓練の様子[2010.11.29/霧島の桂内地区]

#### 自分たちの命は自分たちで守る

私たちの桂内地区は約220世帯、600人が住む新燃岳火口から約6kmのところにあります。親に「新燃岳」と「御鉢」は約60年周期で交互に爆発すると聞いていました。それが間もなくではないかと不安に思い、噴火前の2010年11月に自主防災組織を結成。独居老人宅の把握をしながら、AEDや消火器の使い方、災害に備えての炊き出しなどの防災訓練も、噴火前後に何度も確認を行って、地域全体での防災意識を高めています。噴火後の2011年2月には、地域の方たち17人と都市部の夏尾町にボランティアに行き、屋根に降り積もった灰下ろしをしました。現場を目の当たりにして、改めて噴火の恐ろしさを実感しました。新燃岳噴火では、桂内地区に特に大きな被害はでませんでした。高齢者が多い地区でもあるので、万が一のことを想定して、日ごろから地域全体での訓練が大切だと痛感しました。



桂内地区自治公民館 館長  
松元繁明さん(61)